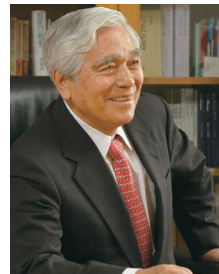


202号 狭山ヶ丘通信

本校の実情をお知らせし、教育問題、社会問題等に関する本校校長小川義男の見解などをお読みいただくため「狭山ヶ丘通信」を発行いたしております。また、本校ウェブサイトにてバックナンバーもご覧いただけます。 <https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/> 〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢981 TEL:04-2962-3844 FAX:04-2962-0656 狭山ヶ丘学園 広報部



狭山ヶ丘高等学校
狭山ヶ丘高等学校附属中学校
校長 小川義男

昨年度卒業生の残した輝かしい足跡をたどって進もう。

昨年度の進学実績に触れるのは、今号限りにしたいが、東京大学一人というのは、大きな足跡だと思う。東京大学の最難関と言われる文科三類(文学部)にも一人がパスしている。素晴らしいことである。

自画自賛と言われるかも知れぬが、内輪で密かに喜び合っても良からう。北海道大学医学部に、初めての合格者が出た。北海道大学医学部は、東京大学医学部より定員数も多く、全国的最難関の一つだと私は思っている。素晴らしい勇戦敢闘だ。

弘前大学医学部に合格した生徒は、生徒会長でもあった。その生きる姿勢に、学園の名において、敬意を表したい。

MARCHG(明治 青山 立教 中央 法政 学習院)にも、多数の合格者が出ている。成果はすべて、生徒諸君の奮闘、担任をはじめとする全教師の努力と勇戦敢闘の結果である。また、進路指導部の教師たちの学校全体を支える、言語に絶する努力の賜でもある。担任教師の献身もまた忘れてはならぬ。

また、超難関突破の陰に、昨年度I類担任教師の、言葉に表し難い努力もあった。この大きな成果の秘密は何かと問われたら、私は、彼の知性、実力と共に生徒への「愛と献身」だと答えたい。倦まず弛まず、努力するその姿勢を真似るのは容易ではない。

もう一つ言いたい。それは、この三年間、彼が生徒を深く深く可愛がったことである。厳しさも大切だが、生徒愛には勝てない。それは、我々教師のすべてにとり、不可能なことではないと私は思う。師弟共に愛し合い苦勞し合う道すがらに花は咲くのだ。

早稲田に大量合格者が出た頃、二人の素敵な女性教師がいた。一人は早稲田文学部。一人は教育学部出身だったように思う。お二人の努力は、凄まじいものであった。当時の山崎教頭も私も、圧倒されていた。その一人は結婚、退職された。我々二人が、どれほど落胆したかは、今振り返っても懐かしい。

お一人は、お母さんが高齢のため、面倒を見るための退職であった。「遠方の母を見捨てられない」と言うのである。

九州に講演に行ったとき、私は母親と共に、その先生をこちらに引き取るべく努力した。しかし、高齢者を遠く移動させると、寿命に影響するのだそうである。「俺も高齢だが」と思ったが、諸般の事情を思い諦めた。今も本校には、優れた教師が目白押しだ。手を取り合い、二人の名教師の足跡を超えて進みたい。

生徒諸君にお願いしたい。折角、これだけの学校に進学したのだ。辛いこともあり、休みたくなる日もあるが、辛抱してもらいたい。頑張ることだ。

私は、政府の「学校安易化政策」に反対である。彼らは、少し前まで「ゆとり教育」を唱えていた。私は「学問にゆとりなどあるか」と反対したが、いつの間にかそれは「締め付け教育」に変わっていったように思う。

辛くても学校には、毎日通い続けるよう頑張つて欲しい。

古い話だが、私が上級学校に進学した頃、進学できるのは小学校のクラスで二名くらいであった。進学できなかった人たちの一部は、夜間中学校に進んだ。午後四時近い頃、彼らは大工、左官、魚屋、八百屋の服装のまま、私たちの学校に駆けつけた。親の腰鑿りの私たちにとって、眩しい彼らの気概であった。

仕事の関係で夜間中学校にも通えない人たちもいた。「独学」と言われる。その人たちのため、政府は「専門学校受験資格検定試験」を行った。難関中の難関である。私は「専検」合格者を二度だけ見たことがある。貧しいから学校に行けなかったのだから、私たちの目には眩しかった。「専検合格者」と聞いただけで、尊敬の気持ちに充たされたものである。

当時の政府は、厳しかったが、すべての若者に明日への可能性を保障していた。今「高等学校卒業程度認定試験」と言うのがあるが、比較にならぬほど易しい。「甘すぎる」政府の文教政策がもたらしたものである。

もっと安易な「学校」もあるようだ。但し金がかかる。

「他人のネクタイは赤い」とも「隣の芝生は青い」とも言う。皆、苦勞せずの良い思いをしようとする傾向を求めるのかも知れぬ

が、楽しんで成果など獲得できるものか。「辛抱しなけりやだめだよ」と私は言いたい。

また、感動して卒業式に、私は泣いてしまったことがある。

「皆勤・精勤表彰」と司会者が言ったとき、七割くらいの卒業生が、斉に起立したからである。今も、その傾向は続いている。それが狭山ヶ丘学園を、底深い所で支えている力なのだ。

金さえ出せば「楽な学校」は、いくらでもある。もっとも、今は「楽な学校」にも父母負担軽減の金は支給されるらしい。

しかし私は君らに言いたい。「苦勞せよ。先輩たちのように！ 苦勞しなけりや駄目だよ」と。

私の朝ゼミは、間もなく二冊の英書を読破する。最後まで来てくれた一年生に敬意を表す。今後は、二年、三年の参加も求める。このゼミは「当てたり」「発表させたり」しない。私の講義を方的に聞くだけである。

だから三年生どころか、中学生が参加しても構わない。英書三冊を読破すれば、読解では大学入試に困らなくなる。

朝七時二十分より視聴覚室。土曜は休み。詳しくは校長室に聞きに来てもらいたい。

テキストは決まり次第知らせる。人数が増えた場合は、講堂に変わるかも知れない。

私の夢は、諸君が通学の電車などの折に、英字新聞を読んで下さることである。

新しいテキストは、近日中に決定、販売する。このゼミは、学費無料のある種の予備校と思つて頂いても良い。

みんな、力をあわせて、大きな目標を達成しよう。「遠くまで行く」のだ。

学校説明会のご案内

「気になる」が「なるほど」になりました



気になる「コースのこと」、「部活のこと」、
「学校生活のこと」、「学費のこと」…何でもお答えいたします!
当日参加も可能ですが、
本校ウェブサイトで事前予約をしていただくと
スムーズにご参加いただけます。ぜひ、ご来校ください!



高等学校

入試対策学習法
ガイダンスが
あります!

予約優先
当日参加可

受験に向けて本格的に準備をスタートしていく夏休み前に、ぜひ本校を知ってください!

なお説明会のあとには、個別相談も行っております。説明会と合わせてご参加ください。

英語は小川校長直伝!



付属中学校

校内見学も
自由
です!

予約優先
当日参加可

体験授業や校内見学、個別相談など、実際に体験していただき本校のことを知っているだけのイベントをご用意しております。

現役生徒による学校紹介!



第1回
10:00
~11:30

7月30日 日

第2回
10:00
~11:30

8月27日 日

今後の開催日 【第3回】9/23(土・祝)
各回10:00~11:30 【第4回】10/29(日) 【第5回】11/19(日)

第1回
10:00
~11:30

7月17日 月・祝

第2回
10:00
~11:30

9月10日 日

今後の開催日 【第3回】10/21(土)14:00~15:30 狭丘祭と同時開催
【第4回】11/4(土)14:00~15:30 【第5回】12/2(土)14:00~15:30

高等学校個別相談会 全3回 ※個別相談のみです。 ※スクールバスの運行無し。

第1回 10月14日 14:00~17:00
第2回 12月16日 9:00~12:00 / 13:00~16:00
第3回 12月26日 9:00~12:00

主なご相談内容

- 入試について
- 高校生活への不安
- 授業内容について
- 進路について
- 部活動について
- 学費について



付属中学校オープンスクール

WEB予約可

8月19日 土

必ず事前のご予約が必要です

体験授業を行います

国語・算数・理科・社会
英語・家庭科・情報



ご来校には公共交通機関・送迎用スクールバスをご利用ください。

	乗車場	来校用	下校用
午前開催 (10時開場)	入曽駅東口(西武バス折り返し所)	9:00・9:15・9:30	11:30から順次
	箱根ヶ崎駅西口(送迎バス4乗り場)	9:05・9:30	【入曽・箱根ヶ崎便・入曽経由川越行便】
午後開催 (14時開場)	入曽駅東口(西武バス折り返し所)	13:30	【入曽・箱根ヶ崎便】 15:30から順次
	箱根ヶ崎駅西口(送迎バス4乗り場)		【入曽経由川越行便】 16:00・17:00

駐車スペースがないため、車での来校はご遠慮ください。



ご予約や資料請求は、本校ウェブサイト!

<https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/>



- ご予約は、開催日3週間前の9:00から開催日3日前の23:59まで受け付けております。
- 個別相談をご希望の方は、事前に個別相談用紙をプリントアウトし、ご記入いただきご持参ください。
- 校舎内は、上履きは必要ございません。また、昼食の販売はございません。

一般公開

第63回

開催日

9/9(土) 11:00~15:00 最終受付14:30

9/10(日) 9:30~15:00 最終受付14:00

※付属中学校学校見学説明会 10時~11時30分

狭丘祭(文化祭)

~友情を皆で繋ぐ狭丘祭~

本校の文化祭である「第63回狭丘祭」を一般公開します。入場制限はありません。

3年間実施できなかった高校3年生が工夫を凝らした個性豊かな食品販売(模擬店)も行います。個々のクラスの展示、クラブによる演技・演奏・発表など、狭山ヶ丘生の素顔と工夫と努力が見られる2日間です。ぜひ、お越しください。

—— 詳細は、本校ウェブサイトをご覧ください。 ——



一般入場について

- ・入場制限はございません。
- ・駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。学校周辺のへ駐車はご遠慮ください。
- ・スクールバスの運行はございません。
- ・駐輪場のご用意があります。自転車での来校は可能です。
- ・写真撮影は、生徒の肖像権を守るためご遠慮いただいております。

Web版は個人情報保護の観点から一部情報を掲載しておりません。

軽登山

中学校 軽登山 & 理科実習 でワクワク!

理科実習

付属中学校では5月24日(水)・25日(木)に軽登山を、6月20日(火)に理科実習を実施しました。日常では味わう機会のない体験に、生徒も刺激を受けた様子でした。

1年: 物見山・日和田山



1年: 千葉現代産業科学館/葛西臨海水族園



2年: 丸山



3年: 子ノ権現



2年: 国立科学博物館



3年: つば宇宙センター/JAXA/地質博物館/サイエンススクエアつくば



軽登山や理科実習、その他の行事や取り組みはSAOKA Journalでも紹介しております。SAOKA Journalはこちら→



●年●組 芝本 璃咲

中学校に入学して初めての軽登山では、物見山と日和田山に行きました。物見山は、緑が豊富で自然を肌で感じながら登ることができました。日和田山は滑りやすく、足場の悪い場所が多くて大変でした。しかし、歩きにくい場所を通る時や、転びそうになった時は仲間の体を支えてあげたり、みんなで手を貸し合ったりして、助け合いながら山頂に向かって登りました。想像していたよりも辛かったですが、山頂に着いた時の景色は非常にきれいで、大きな達成感を味わいました。また、登山中はすれ違う登山客の人達に笑顔であいさつをするよう心がけました。すると、登山客の人達が笑顔で話しかけてくれたので、嬉しかったです。たくさんの自然を感じられただけではなく、クラスメイト全員で協力し、普段とは違う体験ができた軽登山は、私にとって心に残る一日となりました。これからもクラス全員で協力して、困難を乗り越えていきたいと思っています。

吹奏楽部定期演奏会

ご来場いただきありがとうございました



(株)フォトクリエイト提供

●年●組 木管コンサートマスター 松崎 美沙

吹奏楽部は6月4日に狭山市市民会館にて、第46回定期演奏会を開催し、当日はたくさんの方々にご来場いただくことができました。お客様に喜んでいただけるよう、演奏面以外にも、司会やダンスなどの演出を、係や担当の部員を中心に準備を進めてきました。準備や練習を進めていく中で、すれ違いが起きたり、意見が合わなかったり、うまくいくとばかりではありませんでした。その度に部員全員でより良い演奏会にするためにはどうすべきか話し合いを重ね、互いの意見を交わすことの大切さを実感することができました。

当日は3年ぶりにお客様にペンライトをお配りして演出に参加していただきました。舞台上から見るペンライトの光彩がとても綺麗で、お客様と同じ時間を共有できている喜びを感じました。演奏後にはたくさんのお客様の笑顔を見ることができたことがとても嬉しく、練習の成果を発揮することができたことへの達成感を味わうことができました。

今回の定期演奏会を無事に開催できたのは、お忙しい中お手伝いいただいた先輩方、ご指導いただいている先生方、いつも支えてくださっている保護者の皆様、そして何よりご来場いただいた全ての皆様のおかげです。

これからも感謝の気持ちを忘れずに、定期演奏会での反省を活かして夏のコンクールに向けてさらに普段の活動から磨きをかけて後悔が残らないよう、努力していきます。



(株)フォトクリエイト提供

1年生に聞きました!

入学してみようですか!?

入学後およそ3ヶ月が経ち、学校生活にも慣れてきた1年生たちに、実際に入学してみたインタビューを行いました。

中学生

●年●組
土井谷 百香



Q 本校にどのような魅力を感じて入学を決意しましたか。

A 入試の日に机の上にあった校長先生の手紙に心を引かれました。校長先生の一言が緊張している私の背中を押してくれたように感じ、この学校の生徒になりたいと思いました。

I類

●年●組
近江谷 雄太



Q 実際に入学してみて、授業や勉強面について感想を教えてください。

A 入学前は授業のペースについていけるか不安でした。実際に授業が始まると、確かに覚えることの量が多いと感じましたが、先生方が生徒思いで、授業を楽しく受けることができます。

II類

●年●組
押田 和哲



Q 部活動や勉強との両立について感想や工夫を教えてください。

A 部活動が始まってから部活終わりの勉強はとてもハードだったので、部活がある時の勉強時間とない時の時間を決めて勉強するようにしました。

III類

●年●組
ムバクエ イフオヌ



Q 本校に入学して楽しかったことや楽しみなこと、他学校生活について感想を教えてください。

A 狭丘祭が楽しみです。同じ目標を持った仲間と一緒に勉強できるため、充実した学校生活を送れています。

IV類

●年●組
中村 晋也



Q これからの意気込みをお願いします。

A これからも部活動と勉強の両立を目指していきます。

一人一人の全インタビュー内容は学校ウェブサイトで公開しております。詳しくはこちら→





6月28日(水)にベルーナドームで、令和5年度体育祭を行いました。声を出しての応援や、一般来場のみなさまに参加いただく「パン食い競争」も復活し、久しぶりに大いに活気あふれる体育祭となりました。

令和5年度 体育祭

燃やせ闘魂 ～切り拓け！新時代～



●年●組
赤嶺 諒



私は、優勝できたことを非常に誇らしく思います。初めての体育祭で緊張していましたが、それを乗り越え、クラスメイトと協力して総合優勝という素晴らしい結果を勝ち取れたことは、ただただ嬉しいです。
1年G組は、先生方に非常におとなしく、物静かなイメージを持たれているようです。私自身もそういう雰囲気を感じていたのですが、これからの行事が少し心配でした。しかし、体育祭の予行練習では、クラス全員が声を掛け合い協力し、走順や各競技のメンバーを決めるときも、体育委員を中心に、全員で和気藹々と話し合いました。そうした協力により、多くの競技で一位を取ることができました。G組にはこのような力があることを知り、たとえ普段は静かでも、やるときはクラス一丸となってやりきれぬ素晴らしいクラスだと知ることができました。
今回の体育祭だけでなく、これからの学校生活にもこの力を活かしていきたいです。

●年●組
橋本 櫻



私は、今回の体育祭で仲間の大切さを学びました。
午前中に行われた三人四脚や宅配便リレーでは、緊張や焦りから息が合わず、いい結果を残すことができませんでした。中間発表で4位だと知った時、悔しさと絶望で、午後の競技も失敗してしまうのではないかと、とても不安になりました。しかし、クラスみんなが「午後の競技で巻き返して、優勝狙おう！」と言い、一致団結することができました。午後の競技は午前の競技と比べ物にならないくらい、みんな良い動きをしていました。成績発表で私たちのクラスが呼ばれたときは夢なのではないかと思うほど、とても嬉しかったです。
体育祭を通して、クラスメイトとの絆はとても深まり、これからの学校生活もたのしみになりました。



クラス応援旗 優秀作品

クラス応援旗は本校ウェブサイトで全クラス分、公開しています。

